1603873HC2802

MITSUBISHI ELECTRIC

業務用単独脱臭ユニット

形　名

TDA-30JC2

据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前にこの据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
据付工事は販売店・工事店様が実施してください。
■この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等によりご用意ください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付けが終わりましたらこの説明書とともにお客様に必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	風呂・シャワー室での使用禁止
分解禁止	指示に従い必ず行う
水ぬれ禁止	

⚠警告

改造や必要以上の分解をしない 火災・感電・けがの原因になります	**端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する** 接続に不備があると火災のおそれがあります
浴室など湿気の多い場所には、本体・コントロールスイッチとも据付けない 感電や漏電の原因になります	**電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備の技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する** 電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災のおそれがあります
交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります	**電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る** 通電状態では感電やけがをすることがあります
外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります	**漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する** 漏電した場合、火災のおそれがあります
本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがをすることがあります	**製品金属部（金属製ダクト）がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける** 接続されていると漏電した場合、火災の原因になります

安全のために必ず守ること　つづき

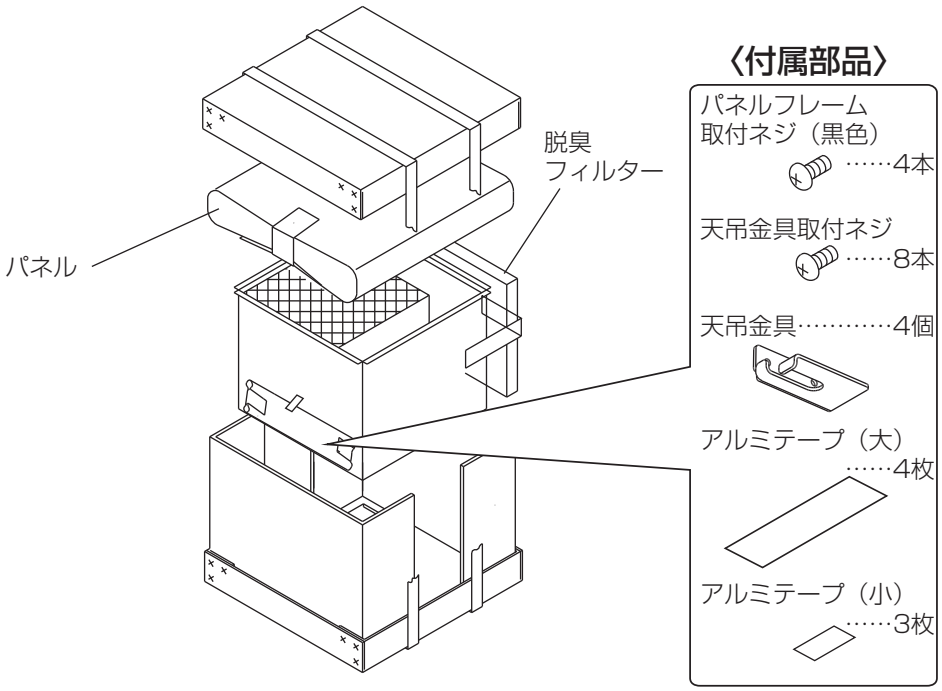
⚠警告

⃠	**高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない** 火災のおそれがあります	❗	**コントロールボックスカバーは施工後、必ず取付ける** ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります
	機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります		**据付け後長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
	塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります		**吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する** 指定以外のものを使用すると、落下の原因になります
			据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります

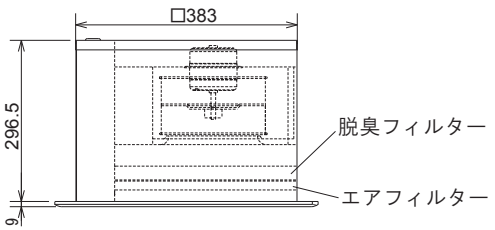
据付け前のお願い

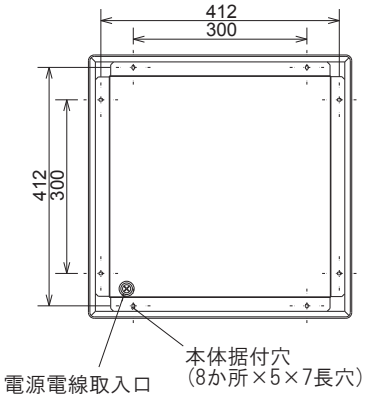
●天井が高い場合(３m以上)や臭気発生場所から製品が遠い場合、臭気発生場所→製品間の気流を妨げるような気流が発生している場合には、脱臭効果が十分発揮されない場合があります。空調機や補助送風機で「臭気発生場所→製品」の気流をつくり、できるだけ臭気が拡散する前に脱臭できるようにしてください。
●直接顔に風があたるような場所（ベッドの上等）では、給気により寒さが気になる場合がありますので、据付けは避けてください。
●天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。

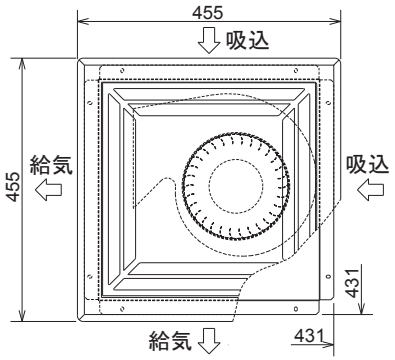
開梱



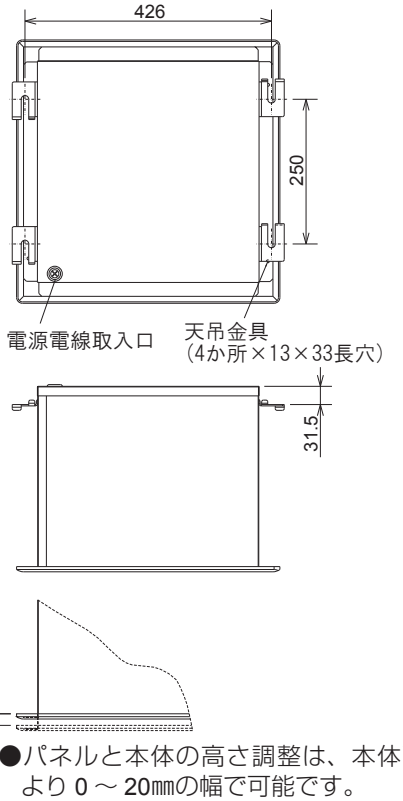
外形寸法図







■天吊金具取付位置および
電源電線取入口

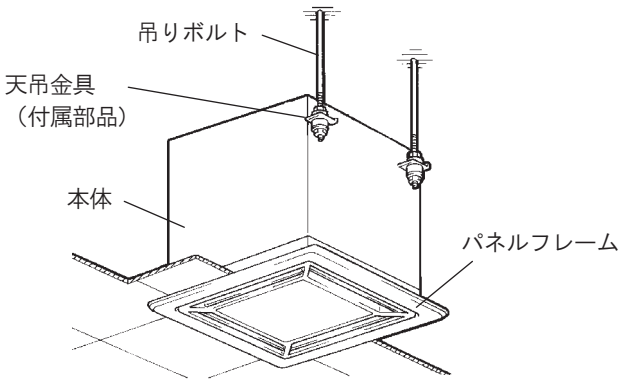


●パネルと本体の高さ調整は、本体下部より 0 ～ 20㎜の幅で可能です。

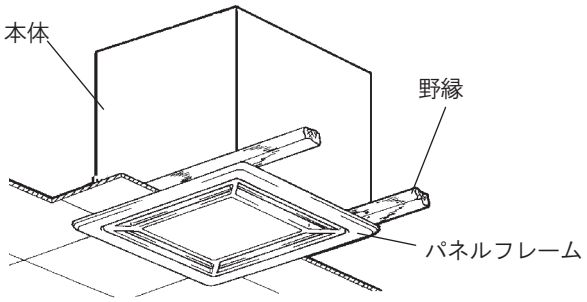
単位（㎜）

据付例

吊りボルトで吊り下げる場合

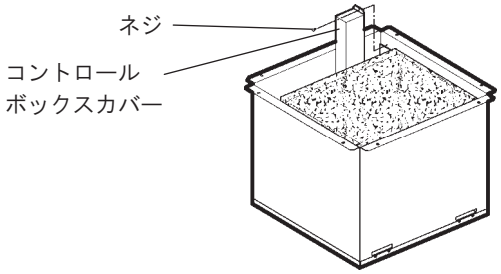


野縁に据付ける場合



据付けかた

―据付け前の準備



コントロールボックスカバーをはずす

●取りはずしたコントロールボックスカバー、ネジはなくさないでください。

据付けかた　つづき

据付手順（例）

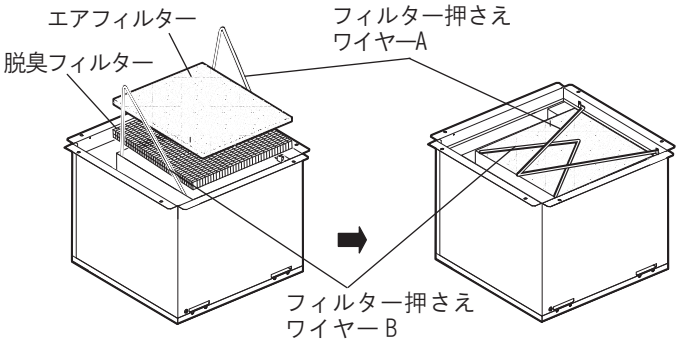
《吊りボルトで吊り下げる場合》

据付位置決め ⇒ 1 吊りボルト埋め込み ⇒ 2 本体を吊る ⇒ 3 軽量鉄骨を組む ⇒ 4 本体の固定 ⇒ 5 電気工事 ⇒ 6 天井材を張る ⇒ 7 パネルの取付け

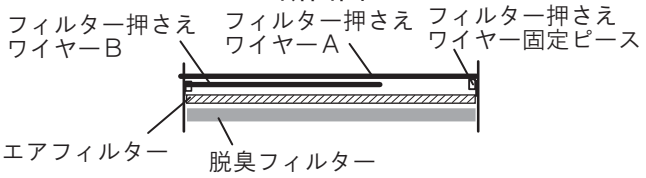
《野縁に据付ける場合》

据付位置決め ⇒ 1 野縁の組立て ⇒ 2 本体の固定 ⇒ 3 電気工事 ⇒ 4 天井材を張る ⇒ 5 パネルの取付け

脱臭フィルターの取付け



断面図



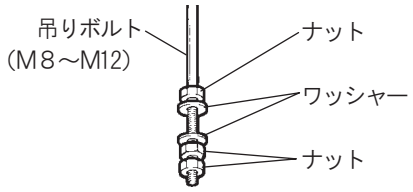
1．フィルター押さえワイヤーＡを握るように引掛穴からはずし、エアフィルターを取りはずす。
2．脱臭フィルターを袋から取り出し、本体に取付ける
　●フィルター押さえワイヤー固定ピースで仮固定されます。（断面図参照）
3．エアフィルターを入れ、フィルター押さえワイヤーＢ、Ａの順でフィルターを押さえ、フィルター押さえワイヤーＡを引掛穴に差込み固定する。

お願い

●ビニール袋は小さなお子様がかぶったりしないよう処分してください。
●無理な力を加えると割れが発生しますのでご注意ください。

吊りボルトで吊り下げる場合

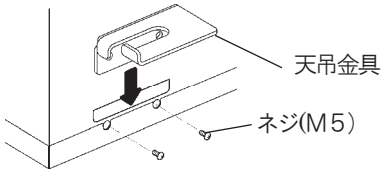
吊りボルト埋め込み



1．市販の吊りボルト（M８～M12）を埋め込む。
（外形寸法図の「天吊金具取付位置および電源電線取入口」参照）
2．左図のように市販のワッシャー（外径でM８、M10で21㎜以上、M12で24㎜以上）・ナットで取付ける。

本体を吊る

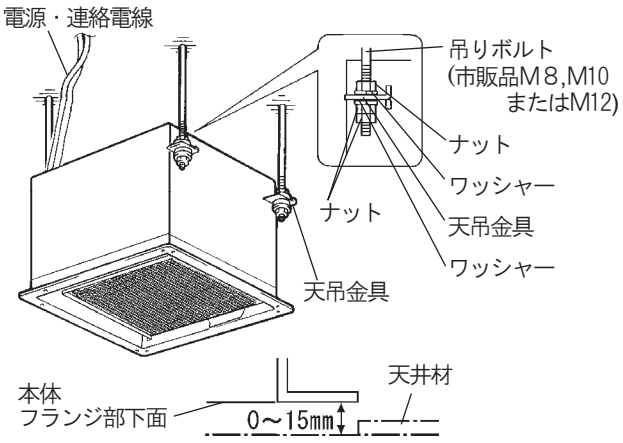
1



天吊金具を取付ける

天吊金具４個を本体に天吊金具取付ネジ（M５）８本で取付ける。

2



本体の据付け

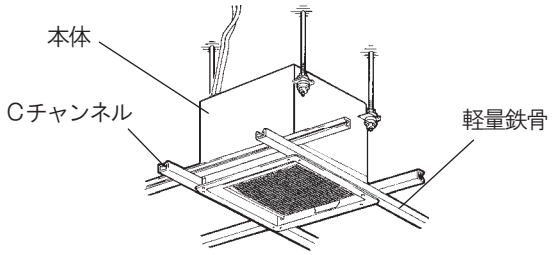
1．天吊金具を吊りボルトに通す。
2．本体が水平になるようにワッシャーおよび市販のナットで固定する。

お願い

●本体のフランジ部下面が天井材下面より上側に 15 ㎜以内に入るよう本体を固定してください。

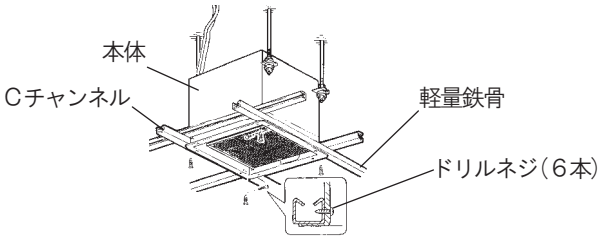
3．電源・連絡電線を本体の取入口から通す。
（電源・連絡電線はφ1.6 の単線（例：WF）を使用してください）※詳細は 6 ページ電気工事の項を参照

軽量鉄骨を組む



軽量鉄骨と開口部補強用のＣチャンネルで左図のように組む

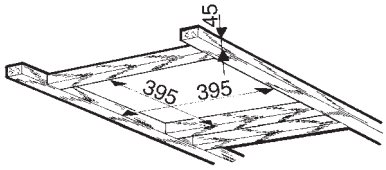
本体の固定



市販のドリルネジ６本で固定する。
（垂直４本、水平２本）

野縁に据付ける場合

野縁の組立て



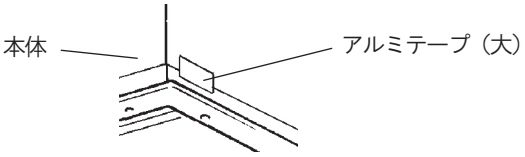
単位（㎜）

天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む

●野縁は 45 ㎜のものを使用する。

本体の固定

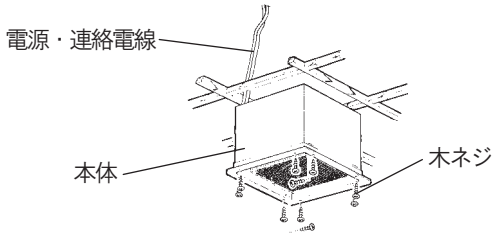
1



アルミテープを貼る

天吊金具取付穴を図のように同梱のアルミテープ(大)でふさぐ。

2



本体を固定する

1．電源・連絡電線を本体の取入口へ通す。
※詳細は 6 ページ電気工事の項を参照
2．本体を押し込む。
3．市販の木ネジ 10 本で固定する。（垂直8本、水平2本）

据付けかた　つづき

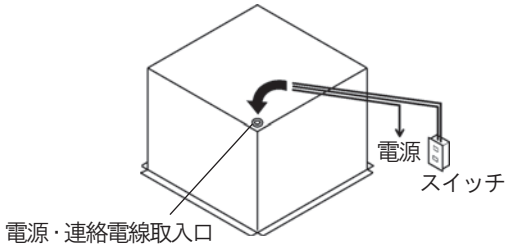
電気工事

⚠警告

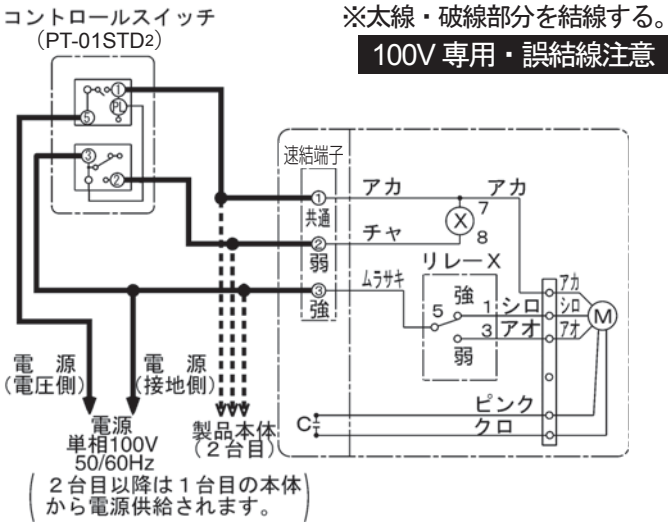
- **交流 100V を使用する**（直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因になります）
- **端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する**（接続に不備があると火災のおそれがあります）
- **電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備の技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する**（電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災のおそれがあります）

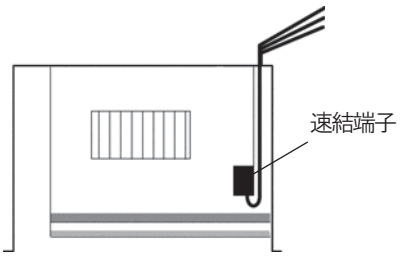
■運転にはコントロールスイッチが必要です。システム部材（別売）のコントロールスイッチを用意してください。
●コントロールスイッチの取付けはコントロールスイッチに同梱の据付工事説明書に従ってください。

■電源線・連絡電線の引き込み



■結線図



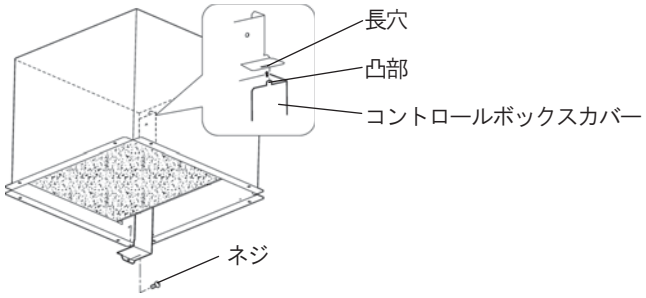


本体の端子台に結線する

1. 電源線・連絡電線の先端を皮むきする。（皮むき寸法は速結端子にて確認ください）
2. 電源線およびコントロールスイッチとの連絡電線を電源・連絡電線取入口から本体内へ引き込む。
3. 各線を速結端子に接続する。（結線図参照）
4. 結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認する。
5. 結線部に力が加わらないように、電源・連絡電線取入口近くにあるリードクリップで電線を束ねる。
6. 元通りにコントロールボックスカバーを取付ける。

■コントロールボックスカバーの取付け

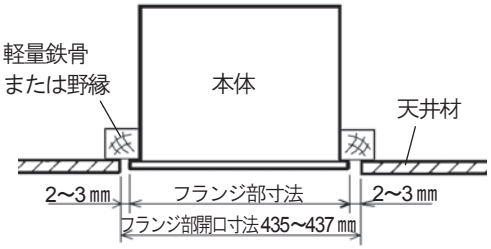
コントロールボックスカバーの凸部を本体側の長穴に差し込みコントロールボックスカバーを固定してネジ止めをしてください。



■複数台運転について

システム部材のコントロールスイッチ１個で同時に 10 台の複数台運転ができます。

天井材を張る

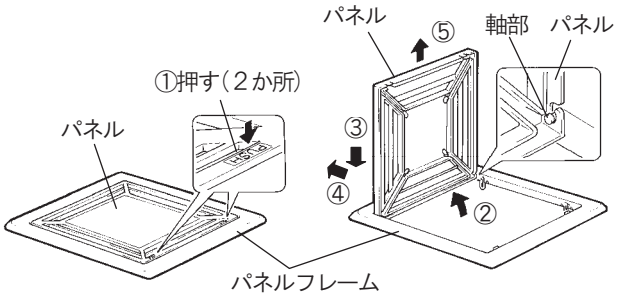


本体フランジ部と天井材とは必ず２～３㎜のすき間をあけてください

●本体の着脱ができなくなります。

―パネルフレーム・パネルの取付け―

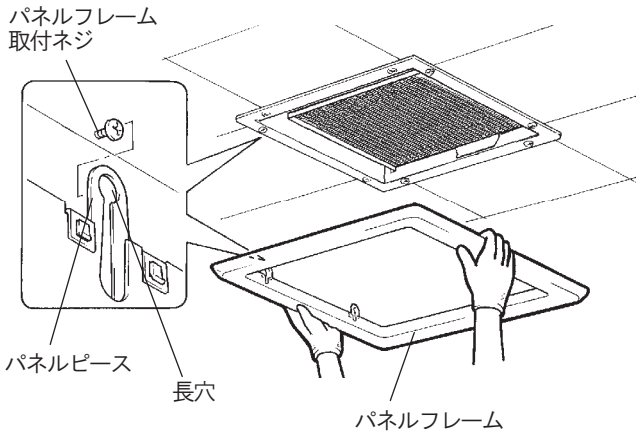
1



パネルをはずす

①パネルの PUSH（2か所）を指で押す。
②パネルをあける。
③パネルを下へ下げる。
④パネルをパネルフレーム側へ寄せて、軸部からはずす。
⑤上へ引き出す。

2



パネルフレームを取付ける

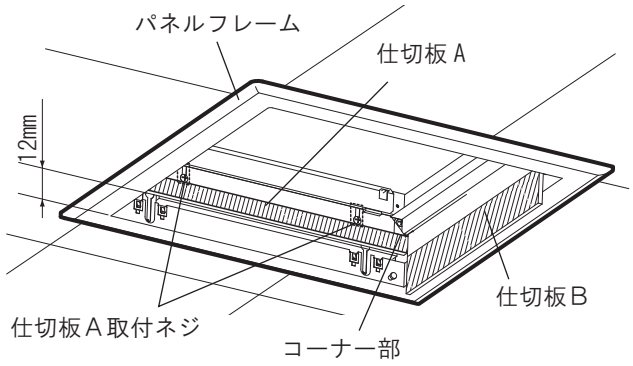
1．付属のパネルフレーム取付ネジ４本を本体に仮止めする。
2．パネルピースの長穴部分４か所を仮止めした取付ネジにはめ込む。

お願い

●パネルフレームの取付方向には方向性があります。4か所のパネルピースと取付ネジを合わせてください。

3．パネルフレームを押し上げ、天井に密着させて固定する。

3

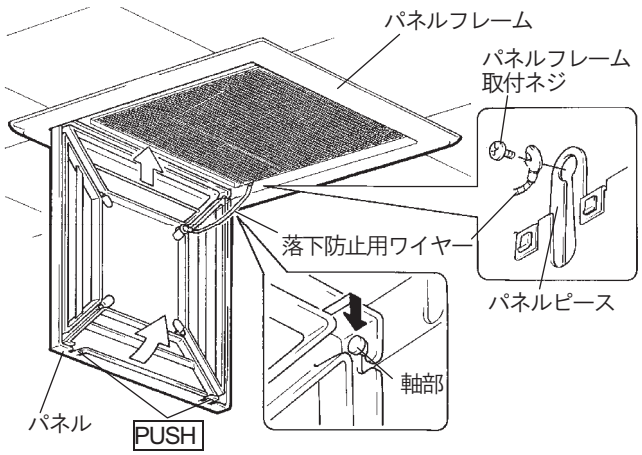


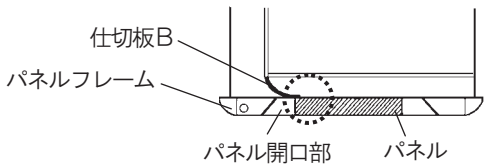
仕切板Aの位置を合わせる

1．パネルフレームから仕切板Aの下端まで 12 ㎜程度となるように仕切板A取付ネジ２本をゆるめて位置を調節する。（パネルに突きあたる位置）
2．ネジ穴部とコーナー部のすき間に付属のアルミテープ(小)を貼る。

●パネルと本体の間が0㎜(パネルを最も製品に近づけて取付ける場合)は位置調整とアルミテープ貼り付けは不要です。

4



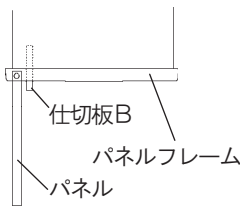


パネルを取付ける

1．パネルをはずした逆の順序でパネルを取付ける。
●パネルをパネルフレームの軸部に引っ掛ける。

お願い

●このときパネルと仕切板Bが右図の位置となるようにしてください。



2．パネルフレーム取付ネジをはずして落下防止用ワイヤーの片端を左図のようにネジ止めする。
3．PUSH（2か所）を指で押しパネルを閉じる。

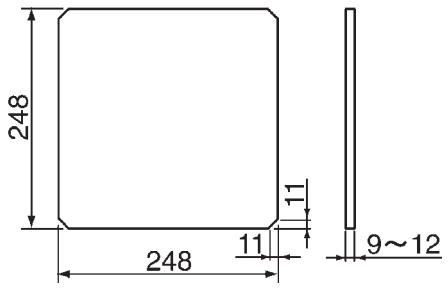
●パネルを閉じるときは仕切板Bをパネル開口部より内側に折込み左図のようにパネルと仕切板Bの間にすき間ができないようにしてください。

据付けかた　つづき

パネルと天井材を合わせる場合

■パネルが天井材と同一で見ばえの良い取付けかたです。

1



単位(mm)

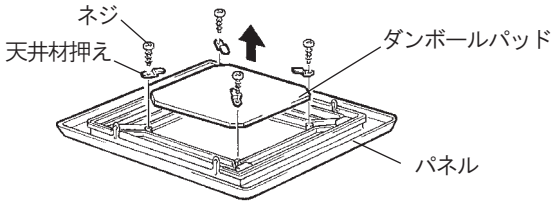
天井材を切断する

天井材を左図のように切断する。

お願い

- ●天井材の厚さは 9～12 mmとしてください。
- ●天井材は振動･共鳴防止のため強度のあるものを使用ください。
- ●天井材は重いもの･割れやすいものは使用しないでください。（重さ 1.0 kg以下）

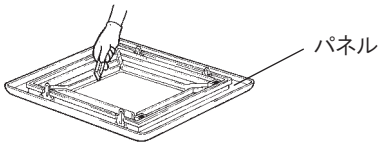
2



パネルを分解する

1. 天井材押え４個をはずす。
2. ダンボールパッドをはずす。
   （ダンボールパッドは使用しません）

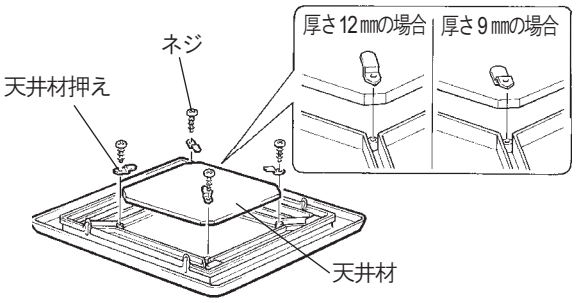
3



パネルを切断する

図のようにカッター等でパネルを切る。

4



天井材を組立てる

天井材を入れ、天井材押えで固定する。（天井材押えを元通りにネジ固定する）

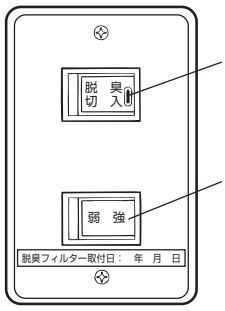
お願い

- ●天井材の厚みによって天井材押えの取付方向が異なります。（ガタツキのない方向で固定してください）

試運転

本体の据付工事が終了後、結線が間違っていないか確認して試運転を行う。

元電源を入れ次の確認を行う



運転スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強・弱」切り換えたとき、風が強・弱に切り換わるか確認する。

※吹き出し付近には回転部があり、手を入れると危険です。

三菱電機株式会社

中津川製作所　〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。